

# 日本の産業を支える

# 日本フルードパワー工業会

日本フルードパワー工業会が創立60周年を迎えた。油圧・空圧・水圧機器(アクアドライブシステム)は産業の根幹を担っており、高度経済成長とともに発展してきた。工場の自動化を担い、生産性を高める役割も果たしている。一方で2000年代以降、グローバル化が進んだことで、フルードパワー産業を取り巻く環境は大きく変化している。5月に就任した田中治新会長(油研工業社長)を中心に、同工業会は新たな成長に向けて動き出す。

## 高い技術力と経営力

日本フルードパワー工業会は60周年にわたって、日本の産業競争力を支え続けてきた。1956年に14社で発足した油圧機器工業会と、1956年に1社で発足した水圧機器工業会が合併し、日本油圧空圧工業会として新たなスタートを切った。母体といえる組織として、高度経済成長とともに発展してきた。油圧機器の市場規模は60年の約100億円から、70年には1000億円と一気に10倍に拡大。当時「喉の産業」と呼ばれた。空圧産業も同じく70年代から大きく伸び、開いて顧客開拓に乗り出した。その後、同工業会が水圧関連事業領域で「コア・コンストロクト」が提唱された。日本フルードパワー工業会が誕生した。自動化(FA)に向けて空圧機器の需要が高まり、年率約20%のベ

り、10年には664億円で急回復する。特に油圧機器が3554億円で前年に比べて6割以上の伸びを示した。苦境からなかなか抜け出せない業界も少なくなく、なかには、たゆまぬ経営努力を続ける同業界の力強さをみせた。今後の成長発展の基軸として、水圧機器の成長も大きな課題だ。グリーンで安心安全な特徴を生かして、食品機械産業や介護分野等への導入を図る。工業界への普及のため、その普及のための環境作りの一つとして、アクアドライブシステムの国際標準化を、経済産業省から受託し、10年には664億円で急回復する。特に油圧機器が3554億円で前年に比べて6割以上の伸びを示した。苦境からなかなか抜け出せない業界も少なくなく、なかには、たゆまぬ経営努力を続ける同業界の力強さをみせた。今後の成長発展の基軸として、水圧機器の成長も大きな課題だ。グリーンで安心安全な特徴を生かして、食品機械産業や介護分野等への導入を図る。工業界への普及のため、その普及のための環境作りの一つとして、アクアドライブシステムの国際標準化を、経済産業省から受託し、



式典で執り行われた経済産業大臣賞授与式



## 経済産業副大臣 鈴木 淳司氏

機器が人々の目に直接触れる機会が多々ありません。まさに産業界の黒子として、陰ながら授与させていただきます。優れた製品が適切に高い評価を受け、目立たない分野にもしっかりと光が当たれること、これらを通して工業会、そしてフルードパワー産業がさらなる発展を遂げられるものと考えております。安倍政権が取り組む経済政策「アベノミクス」の根幹も

まさに日本経済を支えるモノづくりや中小企業への支援です。経済産業省としても設備投資を後押しする「生産性向上設備投資促進税制」を創設し、その活用を広く周知してまいります。即時償却や税額控除が適用できる制度により、企業の前向きな設備投資に大いに役立っており、A類型(先端設備)の証明書発行件数は既に約88万件を超えています。今後も製造業にとって最も重要な技術開発の支援、

# 60周年を迎えて未来へ

## 歴史を土台にさらなる発展を

1956年の創立以来、日本の産業発展を支えてきた日本フルードパワー工業会の60年の歩みに敬意を表してお祝いを申し上げます。モノづくりの製造現場で、その根幹を支えている油圧や空圧、水圧

て、これまでのわが国の産業界への長年の貢献をたえ、このたび工業会にとって初めとなる経済産業大臣賞を授与させていただきます。優れた製品が適切に高い評価を受け、目立たない分野にもしっかりと光が当たれること、これらを通して工業会、そしてフルードパワー産業がさらなる発展を遂げられるものと考えております。安倍政権が取り組む経済政策「アベノミクス」の根幹も最も重要な技術開発の支援、

## 60周年記念式典開催

## 新体制スタート

- 日本フルードパワー工業会の創立60周年記念式典が、5月19日に東京都港区の品川プリンスホテルで盛大に開催された。フルードパワー工業会が功績をたたえ、会員企業に加え、経済産業省の若井英一審議官より甲南電機工業の宮内壽一会長を、機内にて表彰した。タイヨーインタナショナルの澤田敬之製造産業局長、神威産業の土方幹雄社長、日本アキュムレータの杉村宣行会長に経済産業大臣賞の表彰状が授与され、鈴木淳司経済産業副大臣の祝辞が読みあげられた。また、経済産業省から受託した、
- 日本フルードパワー工業会の創立60周年記念式典が、5月19日に東京都港区の品川プリンスホテルで盛大に開催された。フルードパワー工業会が功績をたたえ、会員企業に加え、経済産業省の若井英一審議官より甲南電機工業の宮内壽一会長を、機内にて表彰した。タイヨーインタナショナルの澤田敬之製造産業局長、神威産業の土方幹雄社長、日本アキュムレータの杉村宣行会長に経済産業大臣賞の表彰状が授与され、鈴木淳司経済産業副大臣の祝辞が読みあげられた。また、経済産業省から受託した、

1956年	油圧機器工業会、日本自動機器工業会創立
1958年	油圧機器工業会から日本油圧機器工業会に改称
1962年	日本油圧機器工業会から日本油圧工業会に改称
1963年	第1回世界油圧化機械見本市(現IFPEX)開催
1974年	ISO/TC131 東京国際会議開催
1978年	日本油圧工業会が社団法人化し、社団法人日本油圧工業会が発足
1983年	ハノーバーメッセ見本市(ドイツ)に初めて共同出展し、視察団も派遣
1984年	シンガポールに油圧空圧技術センター開設(1995年閉鎖)
1986年	社団法人日本油圧工業会が創立30周年記念式典・祝賀会を開催(虎ノ門パストラル)
1986年	社団法人日本油圧工業会と日本空気圧工業会が合併し、社団法人日本油圧空圧工業会が発足
1999年	社団法人日本フルードパワー工業会に改称—事業範囲に水圧機器を追加—
2006年	創立50周年記念式典を開催(虎ノ門パストラル)
2007年	油圧・空気圧機器を合わせた年間出荷高が過去最高の7377億円を記録
2012年	一般社団法人日本フルードパワー工業会に移行
2016年	創立60周年記念式典を開催(品川プリンスホテル)



## 田中治氏

〈油研工業社長〉

### 新会長インタビュー

田中治会長に日本フルードパワー工業会の今後の方針を聞いた。今後は、新体制で、着実に前進することが責務だ。2016年度の計画は、前会長のもとで策定した。まずはしっかりと計画を踏襲して、着実に前進することが責務だ。2016年度の計画は、前会長のもとで策定した。まずはしっかりと計画を踏襲して、着実に前進することが責務だ。

### 工業会とともに

「シニアの社員が動きやすい環境づくり」が重要だ。海外展開やシニア社員向けの環境づくりが重要だ。海外展開やシニア社員向けの環境づくりが重要だ。

日本フルードパワー工業会 (Japan Fluid Power Association)  
日本の油圧・空気圧・水圧関連機器、関連部品などの製造、販売企業の正会員・賛助会員合わせて119社で構成された一般社団法人です。

一般社団法人日本フルードパワー工業会

- 【正会員】 アクト電機工業(株) / アズビルTACO(株) / イートン(株) / イハラサイエンス(株) / 瓜生製作(株) / ASK(株) / SMC(株) / NOK(株) / オイルギヤジャパン(株) / 榎大垣鐵工所 / 達坂工業(株) / 榎大阪ジャッキ製作所 / オックスジャッキ(株) / オリオン機械(株) / 神威産業(株) / 川崎重工業(株) / クロダニューマティクス(株) / KYB(株) / 甲南電機(株) / 光陽精機(株) / 株式会社コーヨー / 株式会社コガネイ / 株式会社阪上製作所 / 株式会社三栄精機製作所 / 三輪精機(株) / 株式会社島津製作所 / CKD(株) / 住友精密工業(株) / 大生工業(株) / 株式会社TAIYO / タイヨーインタナショナル(株) / ダイキン工業(株) / ダイキン・ザウアーダンフォース(株) / 大鉄工業(株) / 東京計器(株) / 東京計器パワーシステム(株) / 豊興工業(株) / 株式会社タカコ / 中村工機(株) / ナブテスコ(株) / 株式会社南武 / 日本アキュムレータ(株) / 日本オイルポンプ(株) / 日本精器(株) / 日本バルカー工業(株) / 日本ムーブ(株) / 株式会社ニューエアー / パーカー・ハネフィン日本(株) / 廣瀬バルブ工業(株) / 富士エンジニアリング(株) / 株式会社不二越 / 豊和工業(株) / 株式会社堀内機械 / ポッシュ・レックスロス(株) / 株式会社増田製作所 / 株式会社マツイ / 株式会社三尾製作所 / 三菱重工業(株) / 三菱電線工業(株) / 株式会社山本水圧工業所 / 油研工業(株) / ヨコタ工業(株) / 理研精機(株) (50音順)